

叙位叙勲

去る11月18日に逝去された齊藤 晴雄氏の生前の功績に対し、旭日単光章が授与されました。ご冥福をお祈りいたします。



元本庄市議会議員
故 齊藤 晴雄 氏
(若泉)

高齢者叙勲

政府は、1月1日付けで高齢者叙勲の受賞者を発表しました。市内では、2名の方が瑞宝双光章を受章されました。おめでとうございます。



元公立小学校長
相馬 照明 氏
(朝日町)



元埼玉県北部
環境管理事務所長
秋山 芳照 氏
(けや木)

祝 百 賀

市内在住で大正8年・9年生まれの鈴木タカさん、久保田きよさん、辻村忍さんがめでたく100歳を迎えられました。

大正・昭和・平成・令和と4つの時代を歩んできたみなさんにお祝いの「寿状」が贈られました。



鈴木 タカさん
(児玉町下真下)



久保田 きよさん
(銀座)



辻村 忍さん
(山王堂)

まちかどS n a p

第60回市民元旦マラソン

今年も初日の出を浴びてスタート

1月1日、本庄総合公園を会場に市民元旦マラソンが開催されました。今年の市民元旦マラソンは、記念すべき第60回大会。参加者956名が初日の出を浴びながらスタート。全力で走る方、家族と一緒に笑顔で走る方など、思い思いのペースで約3kmのコースを走り抜け、新年の走り初めを満喫していました。



白い息を吐きながら走る参加者にコースサイドからは声援がおくられた

道祖神祭り

無病息災などを願って

1月12日、児玉町児玉地内の河川敷で、道祖神祭り（どんど焼き）が行われました。祈祷の前には、こだま和太鼓会による演奏が披露され、勇壮な音色で会場を盛り上げました。

ご神木や竹などで作られた高さ10m以上あるやぐらに、すす掃きの竹や門松、しめ縄などのお飾り、古いだるまを飾り付け、お礼やお守りなどと一緒に燃やしました。

来場者は無病息災や五穀豊穡などを祈りながら、新春の恒例行事に参加していました。



巨大なやぐらは音をたてながら燃え上がった。この火で焼いた餅を食べると風邪をひかないといわれる



ホストタウン応援コラム Vol. 9 「トルコ共和国ってどんな国？」

みなさんメルハバ（こんにちは）！
応援コラムの第9弾は、トルコの**デザート**♡についてお伝えします。

なぜ？のび～る

トルコのデザートと言えば、のび～るトルコアイスが有名です。トルコでは「ドンドゥルマ」と呼ばれており、トルコ語で「凍らせたもの」という意味です。縁日などでも長い棒などにドンドゥルマを引っ掛けて伸ばしながら販売されています。

その秘密は？

なぜアイスが伸びるのか、その秘密は材料にあります。ドンドゥルマは、羊乳や砂糖のほか、サーレップという植物の根を乾燥させ粉にしたものを材料とします。サーレップは、トルコ

の山岳部などに自生している植物ですが、このサーレップが伸びる秘密です。気温が高い地域などでも、アイスが溶けるの防ぐために粘度を上げるために使用しています。

よく伸びるため、レストランなどではナイフとフォークで食されています。



伝統的な「バクラヴァ」

日本では、トルコアイスが有名ですが、中でもトルコで最も有名なお菓子と言えば「バクラヴァ」です。



バクラヴァとは、ユフカという小麦粉の薄い生地、砕いたくるみやヘーゼルナッツなどを挟み、はちみつやシロップ、バターをかけたものを何層にも重ね、焼き上げたものです。

ほかにもデザートは豊富な種類がありますが、いずれもトルココーヒーやチャイといった飲み物とともに、食後のより良いひとときを与えてくれます。トルコの食文化にはデザートも欠かせないものの一つなのです。



今月のトルコ語

トルコの方と話す時に役立つトルコ語をご紹介します。ぜひ、声に出して読んでみてください。
今月は日本語で「おはよう」です。
Günaydın (ギュナイドゥン)

来月号もお楽しみに
ギョルシュルズ！
(日本語「またね」)



★オリンピック・パラリンピック支援室
☎25-1615